



おりひがっこ

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



5年生が田植えをしました。

6月20日（火）の2、3校時に、5年生が運動場南側にある「田んぼ」に苗を植えました。5年生は今回の田植えで植える苗の一部を、自分達で育てました。粃（もみ）を水につけ、粃から芽が出て苗になる様子もしっかりと観察することができました。大事に育ててきた苗を田んぼに植えることができる子ども達は、とてもうれしそうでした。しかし、初めて田んぼに入った子どもが多く、履いていたクツが田んぼに埋まってしまったり、足が田んぼにはまって身動きが取れなくなったり、思い通り植えられなかったり、苦戦の連続でした。今回の学習を通して、子ども達は簡単にできると思っていた田植えが、実は大変な作業であることを実感することができました。実際に体験することでしか感じる事の出来ない貴重な学習となりました。

さて、今回の田植えができたのは5年生の努力だけではありません。事前に田植えの道具を農政事務所の吉田さんに借りる、校務員の山口先生に土を入れていただく、ヘルパーの山本さんに代掻きをしていただく、田植え当日に山本さん、山口先生、栄養教諭の河野先生にお手伝いいただくなどなど、多くの方のサポートがありました。子ども達には、植えた苗と同様、感謝の気持ちも大事に育ててほしいと思います。実りの秋が迎えられるよう、期待しています。



避難訓練・集団下校

6月20日（火）5校時に避難訓練、6校時に集団下校を行いました。避難訓練は家庭科室を出火場所として、雨天のため体育館に避難しました。どの学年も「おはしも（お…おさない、は…はしらない、し…しゃべらない、も…もどらない）」の約束をしっかり守って、避難することができました。また、自然災害や不審者侵入などの有事に備えて、全学年を各方面別に一齐に下校させる集団下校を行いました。誰と一緒に帰るのか、どの先生が担当なのかを確認しました。火災も有事もいつ起こるのか、実際に起こるのかはわかりません。しかし、絶対に起きないとは限らないからこそ実施しなければならない訓練だと思います。自分の命は自分で守らなければなりません。いざという時は、自分で考え、自分で判断し、自分で行動しなければなりません。今回の訓練の経験が実際に生きると信じています。

いつの時代もまさかの時の「備え」は大切です。

